

「舞台芸術の世界展」

～ディアギレフのロシアバレエと舞台デザイン～

2007年4月17日(火)～5月27日(日)

休館日:月曜日(4/30を除く)・5/1(火) 開館時間:午前9時30分～午後5時

主催:北海道立釧路芸術館・北海道新聞社

後援:ロシア大使館・釧路市・釧路市教育委員会

NHK釧路放送局・FMくしろ・釧路芸術館ポポ&ももの会

協力:ANA・ルフトハンザドイツ航空株式会社・ルフトハンザ カーゴAG

企画協力:株式会社アートインプレッション



レオン・バクスト ワツラフ・ニジンスキーのための
衣裳デザイン(上演されなかったバレエ「ペリ」より)



アレクサンドル・ゴロヴィン 頭飾り
(バレエ「火の島」より)

© Texts, photos, The State Museum of Theatre and Music,
St. Petersburg, 2007



ジョルジュ・バルビエ 版画集「ワツラフ・ニジンスキー」より
「薔薇の精」と「少女」(「薔薇の精」より) 1913年

Kushiro Art Museum
芸術館

北海道立釧路芸術館

〒085-0017 釧路市幸町4-1-5 Tel. 0154-23-2381

<http://www.kushiro-artmu.jp>

釧路芸術館は(指定管理者:NTT北海道グループ共同企業体)が管理運営を行っています。
施設設置者:北海道教育委員会(北海道教育庁生涯学習部文化・スポーツ課 代表TEL. 011-231-4111)

バレエがアートになった時代

20世紀初頭のロシアでは、大きく変動した社会に呼応するように文化の面でも新たな変化が見られます。そのひとつが、ロシアの画家、音楽家、舞踏家、舞台装飾家、衣装デザイナーを結集し、全ての分野が総合した芸術を創造しようとする動きです。中心にいたのは、伝説的な興業師のセルジュ・ディアギレフ。ディアギレフが結成したバレエ団「バレエ・リュス」は官能性、異国的な演出により、欧米で大評判を呼びました。絵画やデザインなどのビジュアルアートと、音楽や舞踏などのパフォーマンスアートが相互に影響を及ぼして生まれた斬新な舞台芸術は、世界の観衆に衝撃を与えたのです。

バレエ・リュスを支えた芸術家の中には、ニジンスキーやストラヴィンスキーといった20世紀を代表する舞踏家、音楽家のほかに、官能的なデザインの舞台衣装を制作したレオン・バクストや、ロシアの伝統美術からインスピレーションを受けて斬新なデザインをしたナタリア・ゴンチャロワがいます。また、バレエ団の指導者の一人でもあったアレクサンドル・ブノワなどの美術家も活躍しています。

本展覧会では、ロシアバレエが最も脚光を浴びた時代、ディアギレフのもとに集った画家たちに加え、ヨーロッパやアメリカで人気を博したロシア人作家を紹介し、バレエや演劇の舞台デザイン、衣装デザインを中心として、当時着用されたコスチューム作品、公式プログラム、ポスター、写真など約190点により、20世紀舞台芸術の幕開けを記した、ロシア人の芸術家たちの世界をぜひご堪能ください。

観覧料:

一般800円(600円)
 高大生400円(200円)
 小中生200円(100円)
 ()内は前売・リピーター割引・
 10名以上の団体割引

※親子割引有り
 ※本展の観覧券半券をお持ちの方はリピーター割引料金で観覧できます。

次回展覧会

「アルフォンス・ミュシャ展
 憧れのパリと祖国モラヴィア」
 6月9日(土)～8月26日(日)

アールヌーヴォーの時代を代表するグラフィックデザイナー、画家アルフォンス・ミュシャ。チェコの国立美術館所蔵の代表作120点により、その画業を展望します。

お問い合わせ
 北海道立釧路芸術館
 TEL. 0154-23-2381

「舞台芸術の世界展」

～ディアギレフのロシアバレエと舞台デザイン～



アレクサンドル・エクステル 舞台デザイン
 「魔性の女」より
 Victoria and Albert Museum.
 Given by McEwen Lissim in memory of the Arius, DR



アレクサンドル・ブノワ「ユーア」の衣装デザイン
 (バレエ「ペトル・シュカ」より)
 1911年
 Victoria and Albert Museum,
 © ADAGP, Paris / SPDA, Tokyo, 2007
 Victoria and Albert Theatre Collections

BALLETS RUSSES

du Col. W. de BASIL



W.ド・バジルのバレエ・リュスのプログラム、
 1935年



セルジュ・チュホーニン「大きな頭のダンサー」の衣装デザイン
 1928年



レオン・バクスト ミハイル・フォーキンのための
 アムーンの花(バレエ「エジプトの夜」より)
 © Texts, photos, The State Museum of
 Theatre and Music, St. Petersburg, 2007

関連事業

●美術講演会
 「バレエ・リュスの美術」
 日時: 4月21日(土)14時～15時30分
 講師: 鈴木 晶氏(法政大学教授)
 会場: アートホール(聴講無料)

アートイベント

●ミュージアム・シアター
 日時: 4月28日(土)10時30分開場
 11時「戦艦ボツォムキン」
 (1926年 アレクサンドル・エイゼンシュタイン監督 74分)
 14時「エルミタージュ幻想」
 (2002年 アレクサンドル・ソクーロフ監督 96分)
 会場: アートホール(入場無料)

●ミュージアム・コンサート
 「ロシアピアニズムとロシアバレエ」
 日時: 5月5日(土)14時～(13時30分開場)
 演奏: 中添由美子氏(ピアノ)
 会場: アートホール(入場無料)

●バレエ・ワークショップ
 身体で遊ぼう
 日時: 5月12日(土)10時/14時～
 講師: 池田 光氏(Dance Vision代表)
 ※募集制です。詳しくは美術館にお問い合わせ下さい。

●展覧会レクチャー
 日時: 5月19日(土)14時～15時
 講師: 当館学芸員
 会場: アートホール(入場無料)



交通のご案内

●JR釧路駅より徒歩約15分(南へ約1.2km)
 ●くしろバス(十字街)〈十字街7丁目〉
 停留所下車徒歩5分
 ●釧路空港より市内行き連絡バス約50分
 〈フィッシャーマンズワーフMOOバスターミナル〉下車徒歩2分
 ※来館者専用駐車場8台。展覧会ご観覧の方は、釧路錦町駐車場の利用料金が1時間無料になります。(駐車券を当館受付にご提示ください)

こちらどうぞー釧路市立美術館の展覧会



ブチ・コレ「ベクタと探検! くしろアートの空」4月21日(土)～5月27日(日)
 第8回ベクタ祭り 4月28日(土)～5月6日(日)
 お問い合わせ 釧路市立美術館(まなぼとと階3F) TEL. 0154-42-6116(直通)

北海道立釧路芸術館
 〒085-0017 釧路市幸町4-1-5
 Tel. 0154-23-2381
<http://www.kushiro-artmu.jp>

本館は(株)アート・N.T.T.北海道グループ共同企業体)が管理運営を行っています。
 施設管理者: 北海道教育委員会(北海道教育庁生涯学習課文化、スポーツ課) 代表TEL. 011-231-4111